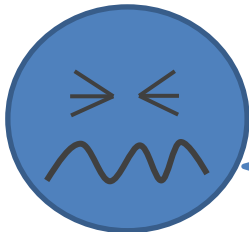


幼児・児童・生徒の実態

- ・発表や話し合いなどは活発にできるが、書くことが苦手である。



- ・耳で聞いてよく理解できていても、書く（表出する）ことに不安や自信のなさがあり、書くことができない。
- ・書くことが極端に苦手だ。

☆本人との対話、本人の思い

- ・プリントやノートに書く学習は極力やりたくない。
- ・プリントに書くことは苦手なので、できないが、口頭で答えることはできる。

計算しましょう。

$$(-4)^2 = 16$$

☆手立て・合理的配慮

- ・教室のデジタルテレビに、プレゼンテーションソフトで作った問題をアニメーション効果を使って順次提示し、口頭で答えさせる。
- ・同じ問題を何度も繰り返して口頭で答え、自信がついたところで設問をごく少数に限定したプリントに挑戦する。

あなたは テニス が 好きです。

You like tennis.

あなたは テニス が 好きではありません。

You don't like tennis

You do not like tennis.

支援を受けてみて

- ・自分にもできそうな内容を、自分でできる方法で、少しずつ積み重ねることができ、学習に前向きになれた。(本人)
- ・本人の学力が少しずつ伸びてきた。(保護者)